

# 免疫力を高めよう

## 名古屋で農業と食シンポ

農業生産法人日本農受

自然農（静岡県函南町）

は4日、名古屋で「免疫力を高める食と農業——病気にならない食、病気にならない農業」をテーマに、第4回日本の農業と食シンポジウムを開いた。消費者ら170人が参加した。

同法人の吉田誠さんが「土づくりから6次産業化まで 函南農場の取り

組み」と題して講演。ド

イツで200年前に開発されたホメオパシー（同種療法）と呼ばれる民間療法の考え方を農業に取り入れ、野菜やハーブ類などを農薬や化学肥料を使わないで栽培し、農産物から化粧品も生産している事例を紹介した。

静岡県のJA函南東部の片野敏和組合長が「静岡・丹那地域を活性化す

る自然型酪農と自然型農

業への取り組み」と題して講演。同JAは、同法人と共同で耕作放棄地を活用してハーブ栽培に取り組み。体験型観光牧場「酪農王国オラッチェ牧場」を中心に、自然型酪農に力を入れている事例を報告した。

新潟大学の安保徹名誉教授が「免疫力アップの生活と食」と題して講演。

「忙しい生活や無理、ストレスが病気をもたらす」と指摘。「病気にならないよう生き方を見直すことが重要」と強調した。

同法人の由井寅子代表は「免疫を高める食と農業」と題して講演。「免疫力を高めるには、良い食と良い農業が基本となる」と強調した。